

## The Allied Genetics Conference 2024 (TAGC2024)への参加報告

理学研究科 理学専攻 生命理学領域  
博士前期課程2年 廣岡依里

出張先：アメリカ ワシントンD.C.

出張期間：2024年3月5日～2024年3月12日

出張目的：TAGC2024へ参加し、ポスター発表を行う。

### 概要

アメリカ、ワシントンD.C.のNational Harborで開催されたThe Allied Genetics Conference 2024 (TAGC2024)に参加した。本学会は遺伝学、神経学などを中心に様々な分野のトピックから構成された大規模な国際学会であり、各分野の研究者が世界中から集まる学会である。私はDevelopmental Geneticsのトピックで”Elucidating the non-autonomous role of macrophages in tumor growth regulation in *Drosophila*”というタイトルでポスター発表を行った。



(上)：学会会場に併設されたホテル  
(下)：会場の周辺の様子

### 所感

毎年アメリカで開催されているショウジョウバエ研究者が集まるFly meetingだが、今年はショウジョウバエだけでなく様々な生物を扱う研究者も参加する合同学会であった。本学会は自身にとって初めての国際学会であったため緊張したが、世界中の面白い研究と活発なディスカッションの様子にすぐに魅了された。世界の研究のレベルの高さに圧倒されるときもあったが、常に国際レベルの研究を行う重要性を改めて意識できる機会となった。自分の専門と異なる生物の発表も大変興味深く、今後の融合研究の可能性だけではなく卒業後の進路を考えるうえでも非常に貴重な機会となった。ポスター発表では、自分の主張を英語で詳細に伝えることに苦労したが、分からないことは何度でも聞いてくれてディスカッションをすることができた。もっと英語を上達させより実のあるディスカッションをできるよう今後も精進したいと思った。

最後になりますが、このような貴重な機会を与えてくださいました大澤志津江教授と、旅費をはじめとして多大なるご支援をして下さいましたGTRの皆様へ深く感謝申し上げます。